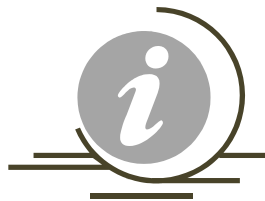


スイスコテージハウス



～ インフォメーション ～

1 / May / 2021 更新



短期から長期まで、ワンランク上の大人向けシェアハウス
シェアハウス個室／ワンルーム(STUDIO)

《ロンドン・アップルハウス》 Since 2004



Web: www.londonapplehouse.com

Email: info@londonapplehouse.com

Mobile: +44(0)7900-457-222

Running by ZEKKEY Ltd. (Registered in England No.07742569)

―目次―

ようこそスイスコテージハウスへ

- ※ スイスコテージハウスって？
- ※ 交通、周辺は？
- ※ お部屋
- ※ レント(お家賃)、各種割引
- ※ その他サービス
- ※ 予約、支払い手続き
- ※ キャンセル
- ※ 最後に…

滞在における注意事項

1. チェックイン
2. チェックアウト
3. 掃除、整理整頓
4. 安全管理
5. ハウスの入る建物
6. ハウス内の設備
7. インターネット
8. 洗濯
9. バス・トイレ
10. 暖房
11. 節約
12. 消耗品、日用品.
13. 住所、郵便物
14. 門限、消灯
15. 喫煙
16. その他
17. ルール違反
18. 質問、連絡

各種資料（ハウス備え付けファイル内）

- Wi-Fi ネットワーク名及びパスワード
- 設備・機器の使い方(洗濯機、除湿機など)
- 住所(Location Map)
- 交通案内(Tube Map、Bus Map など)
- 周辺案内(施設、Shop など)

ようこそステーションハウスへ



ステーションハウスって？

1. 形態・・・1泊から数ヶ月までお荷物一つでご滞在いただけるお家です。ステーションハウスはメゾネットタイプのハウスで、下階には全ての設備が専用となるスタジオタイプのお部屋 Room1 があります。上階は Room2、Room3 があって、2 部屋の個室の滞在者でバス室やキッチンシェアする形です。
2. 定員・・・各お部屋の定員は料金表をご参照頂けたらと思いますが、ハウス全体の計算上の定員は 6 名になります。ただし、各部屋とも 1 名様でのご利用が多く、予約管理においても、人数が多くなりすぎないように留意しておりますので、ハウスの平均滞在者数は 3 名程となっています。
3. 設備・・・きれいなお家には、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、調理器具、食器類、乾燥機付き洗濯機、アイロン、掃除機等の生活必需品を完備し、Wi-Fi 環境も備えています。下階の Room1 は特別なお部屋で、それらの設備が専用で備わっています。また、全室鍵付きで、室内には、ベッド、机 & 椅子、収納スペース、テレビ、ドライヤー、洗濯物干し、を備えています。
4. 特徴・・・スイスコテージはロンドンの在住邦人にもとても人気のある、安全で生活しやすい便利な街です。ハウスは駅前の立派なマンションの 6 階(日本で言う 7 階)にあって、モダンな雰囲気。何と言っても駅の出口から 5 秒、エントランスの前が地下鉄駅の入り口です。マンションはエレベーター完備なのでお荷物が有っても楽チン。高層階からの窓からの眺めも良く、バルコニーテラスからは遠くにロンドン・アイも臨めます。



交通、周辺は？

1. 交通・・・ハウスの最寄り駅は、地下鉄ジュビリー線(Tube Map 灰色)のスイスコテージ駅(Zone2)で、徒歩 0 分、と申しますか 5 秒です。またメトロポリタン線(Tube Map あずき色)も通る次のフィンチリロード駅までも徒歩 5 分です。センター方面のバスも豊富、距離的にもバスだけの生活も十分に可能です。また、ルートン空港/スタンステッド空港へのコーチストップも近くにあります。
2. 雰囲気・・・とにかく安全で便利。ロンドンの Zone2 内で客観的に良いエリアと言われる場所は限られていますが、スイスコテージはまさにその一つ、現地の日本人にもとても人気のあるエリアです。通り沿

いにはいろいろなお店が建ち並び、図書館や公営フィットネスクラブもあって、ロンドンの生活体験をするには最適の場所です。

3. 買い物・・・目の前のフィンチュリーロードはハイストリート。様々なショップや各国レストラン、ファストフード(Mac、KFC)、郵便局、銀行があり、ハウスのあるビルの 1 階にもコンビニ(M&S)とカフェが入っています。素敵なスーパーマーケット(Waitrose)までは徒歩 3 分、徒歩 7 分のショッピングモール「O2 センター」には、レストランや映画館、大型スーパー(Sainsbury's)も入っています。日系ショップも多く、日本食料品店や日本食レストランのほか、日本のケーキ屋さんもあります。



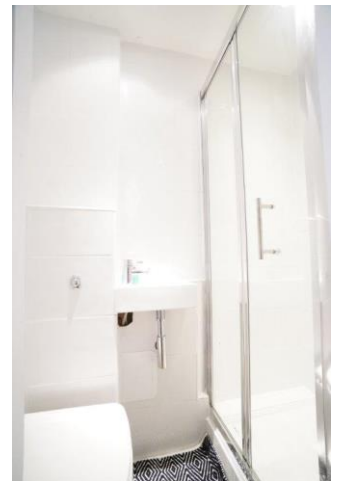
お部屋

ステーションハウスは個室 3 室の構成です。ただ、玄関が一つなので同じハウスとしていますが、下階の Room1 はシャワー・トイレ、キッチンを含む全ての設備が専用で、日本で言うところの 1DK マンションの構成です。上階のシェアエリアは残る 2 部屋のみ。その 2 部屋の滞在者で上階にあるバス、キッチンを共用する形です。下記は、各部屋の説明と写真です。なお、改装や備品交換等を随時行っておりますので、現在のお部屋の状況はお写真と違う可能性があります。雰囲気としてご参照ください。

各お部屋の基本設備は、《ロンドン・アップルハウス》の他のハウスの個室と同じく、ベッド、寝具類、机(or テーブル)&椅子、デスクスタンド、収納スペース、TV、洗濯物干し、ドライヤーを備えています。ただしこの Room1 はスタジオと同じく、その他全ての設備が備わっています。

Room1 は特別なお部屋です。寝室の他に、専用キッチン・ダイニング室、専用トイレ・シャワー室、専用バルコニーがあります。洗濯機や冷蔵庫などの全ての設備も専用です。フラットの玄関が上階のシェアエリアと同じなので別物件としていませんが、構成上 Room1 は日本で言うところの 1DK マンションです。

メゾネットフラットの下階はこのお部屋のみで、お隣の音も聞こえない建物の構造から、お子様連れご家族の長期滞在などに重宝頂いております。2 つのシングルベッドはそれぞれクィーンサイズベッドに広げられますので 3, 4 名で使うことも可能です(実際に大人数でご案内出来るかはその時の状況によります)。高層階の専用バルコニーからの眺めは良く、遠くにロンドン・アイも見えます。



Room2 はメゾネットフラットの上階に有る、ダブルベッドを配した定員 2 名のお部屋です。窓が大きくて明るく、ラジエーターも大きいので冬の暖房稼働時は暖かすぎるくらいです。ベッドは通常のダブルベッドより大きくて寝心地良好。それでいてお部屋は狭くはなく、収納スペースも多くあります。高層階の専用バルコニーからは遠くにロンドン・アイも臨めます。なお、上階はシェアエリアの位置づけですが、バス室とキッチンシェアするのは Room3 と 2 部屋のみです。



Room3 は、ツインベッドルームで定員は 2 名です。ただ、通常時はお部屋を広く使えるように一つのベッドをもう一方のベッドの下に収めています。また、その 2 つのベッドは全く同じサイズなので並べればクウィーンベッドになります。つまり、お一人、ご友人、カップルさん、用途に合わせてお使いいただけます。そして、このお部屋の最大の特徴は大きな窓。高層階から見下ろす街と、夕暮れ時の夕陽はとても素敵です。明るくて、暖かい、静かなお部屋です。



レント(お家賃)、各種割引

レント(お家賃)、各種割引は、ホームページの料金表をご覧ください。

なお、時にホームページの記載と異なる内容、例えば期間限定割引や割増などを予約交渉時にご案内申し上げます。その場合は、あくまで合意した内容が優先されますのでご承知おきください。



その他サービス

1. 送迎サービス・・・チェックイン日のお迎えや、チェックアウト日のお送りを安価にアレンジします。ご希望の場合はお迎えに関する情報(ポストコードを含む住所と希望時間、空港からなら便名、到着予定時刻、到着ターミナル)を添えてお問合せください。ホームページ内の料金表に、空港など主な地点と当ハウス間の料金、遅延待機料、人数割り増し、お荷物の量、チャイルドシートなどについての記載がありますのでご参照ください。
2. 荷物預かりサービス・・・ご滞在の前後において、お荷物をお預かりできます。料金は、「㊦1 (トランクケース 1 個大につき) × お預け泊数 + ハンドリング料 (預かり場所が無いハウスゆえ発生)」ですが、

滞在する(した)泊数をトランクケース 1 個大に換算して無料でお預かりしていますので、ご滞在が長い場合はほぼ「ハンドリング料」のみになるという、無料サービスの意味合いの強いものです。詳しくは、ホームページ > インフォメーション > 滞在システム 3. 提供サービス、の項をご参照ください。

3. 備品貸し出しサービス・・・ご要望により、専用ヒーター、変圧器、ベビーコットなどを安価にお貸しできます。貸出しの際は、原則として一定の保証金をお預かりします(返却時に返金します)。なお、専用ヒーターの料金は電気代を加味します。変圧器は 100W 程度の変換が限度です。ベビーコット手配の対象は広めのお部屋に限ります。
4. ハウスの設備・・・ハウスにはスーツケース一つでいらして頂いてそのまま生活できるように、調理設備を含めた一般的な設備や備品が一通りそろっており、使用は全て無料です。同様のシステムのサービスアパートメントでは有料であることも多い、洗濯機や Wi-Fi も無料です。
5. 消耗品・・・消耗品は基本にご自身でのご用意となりますが、お皿洗い用洗剤、ラップ類、掃除用具、電球などの共用消耗品は無料で補充するようにしています。ただし、切らしている場合はもともと無いものとしてご容赦ください。また、使用頻度に関わらずに無制限に補充できるものでもありませんので適切にご消費ください。



予約、支払い手続き

1. ご予約・・・お問い合わせ、お申し込みは基本的にメールでお願いします。手続きもメールでのやりとりになります。基本のお手続きの流れは、空き状況の照会 → ご案内 → お申込み → 予約内容提示 → 内容確認 → 予約金のお振込み → 予約完了 です。なお、契約成立の時点は、予約内容の確認をいただき、弊社からお受けする旨のメールを送った時点です。予約金振込み時ではありませんのでご注意ください。ただ、直前のお申込みなどの場合は、予約金無しで対応させて頂いております。

補足ですが、居住の法律的定義は 3 ヶ月以上の滞在になります。弊社の各ハウスはもちろんそれ以下の期間(1 泊から)でもご利用可能ですが、そういう前提としてご検討ください。特にこのハウスの Room1 を含めたスタジオの場合は長期滞住者が次に退去する日からの入居者を求めるケースも多いです。また、短期の場合は、特に日のある段階においてはストレートにご案内出来る良い空き予約状況が無い場合はいったん保留させていただき、アレンジを経てのご案内になる場合があります。

2. 支払い・・・契約時に 30%以上の予約金をお支払いいただきます(日の無い段階などは予約金無しで対応させていただくこともあります)。残金はチェックイン時にお支払いいただきます(期間が半年を超えるような場合は分割払いを許容させていただくこともありますので、その旨ご相談ください)。延長、滞住者の追加、送迎などの追加料金は、その都度、前払いでお願いします。支払いの方法には、お振込み、カード、現金が有りますが、具体的には予約手続きの際にメールで順次ご案内します。

※ 諸所の事情や状況により、ホームページやハウス備え付け説明書の記載と異なる内容、例えば期間限定割引や割増、各種制限などを、予約交渉時にご案内申し上げることがございます。その場合は、あくまで、その時々メールで合意した内容が優先されますことをご承知おきください。



キャンセル

前提として、ご予約確定後のむやみな期間短縮／キャンセルはお控え下さい。ハウスのキャンセル・ポリシーは、Room1 は他のスタジオ同様に報告日から 10 日以内分は当該日料金の 100%、14 日以内分は 50%、Room2、Room3 は他のシェアハウスの個室と同様に報告日から 6 日以内分は当該日料金の 100%、10 日以内分は 50%のチャージです。また、予約金を含めて支払い済みの代金は基本にご返金致しかねます。従いまして、キャンセルチャージ額がお支払い済みの金額以下の場合は、追加のチャージもご返金もなくキャンセル手続き終了となります。キャンセルチャージ額がお支払い済みの金額以上の場合は、不足分をお支払いいただいて手続き終了になります。

なお、弊社は仮予約についてはお受けしておりませんので、つまり上記のキャンセル・ポリシーは、期間短縮／キャンセルの無い前提でご契約いただいた上での、想定外の致し方ないご事情へ対してのものとお考え下さい。弊社は、契約成立後は他の依頼を排他しながらお部屋を確保するという契約の履行に着手します。皆さまにも、契約成立後は契約当事者の一方として誠意をもって契約を履行する義務が有りますので、ご契約・お支払い行為は、ご自身の責任あるご判断に基づいてお願いします。

もし、お部屋探し期間中のように、もともと日程が不確定な状況の場合は予めご相談下さい。基本的には、まず確実な期間でご予約をいただいて、追加が必要になったら延長していただく形をお願いしています。弊社としては、ご延長の可能性のある期間については(契約成立までは確保の保証や、予約が入りそうになったら連絡させて頂く等の約束までは出来ませんが)マークを入れて注視をさせていただきます。なお、飛行機の手配の都合による数日程度のズレは、日の迫った段階でない限り、キャンセル扱いにせずスライド対応させていただいておりますのでご相談ください。

少人数制の弊害として、キャンセル・ポリシーがやや厳しくなってしまうことをお許し下さい。ただ私どもは余計なチャージをすることなど全く望んでいません。他の申し込みを断りながらお部屋を確保申し上げたうえで、一方的なキャンセルによって生じる損失を避けなければならないだけでございます。そうした損失を避けることが、占有率を高め、少人数かつ安価という難しい要素を並立させるというシステムを可能にしますので、ご理解ご協力をお願いします。



最後に・・・

《ロンドン・アップルハウス》は、皆様の協力を賜ることで、常駐管理人等のサービス経費を省いて、中・短期の滞在でも、安全なエリアのきれいな物件に、少人数で快適に、そして安価に滞在できる環境を、ロンドンで初めて実現した日系ゲストハウスです。滞在形式はまさにフラットシェアの感じで、預かり金の意味でのデポジットや細かい契約書等も無く、簡単な手続きでいきなりロンドンの住人になれます。

ただ一方で、そうした中で良いハウス環境を維持するには、滞在者の高いマナーと掃除等の具体的な協力が不可欠なシステムです。『お客様として泊る』というより、『住人として住む』という感覚でご滞在いただく必要がございますので、そのあたり良くご理解の上、安価だからというだけでなく、このシステムが今回の

ご自身のロンドン滞在に合っている、協力はやぶさかでないという皆様にご利用いただけたらと思います。

特にイギリスでは電化製品や設備が頻繁に故障しますが、日本人がイメージするような迅速な対応は望めません。まずは皆様の方で丁寧にお使いいただくことを心掛けていただきまして、万が一の際は、私どもにおいて迅速な対応をしますので、「自分で住んでいたら自分でやらなければならないのだな、自分が手配したらもっと時間がかかるのだろうか」という感じで、ご甲斐性を持ってご協力頂けますと幸いです。

お願いごとが続きまして恐縮ですが、管理人が居ない状況においては、一たび滞在が始まってしまえば皆様任せの状態となります。ルールを守ってご滞在いただく限り基本的に干渉致しませんので、ご自身のお家と思ってきれいに保ち、マナーと責任感を持って有意義な現地生活をされてください。滞在者、スタッフ、全ての方がハッピーに過ごせるよう、それが《ロンドン・アップルハウス》の根源的な運営ポリシーです。

滞在における注意事項

1. チェックイン

- ハウスには常駐スタッフはおりませんので、予め打ち合わせた時間に受け入れの対応をいたします。予約交渉時にご希望を伺いますので、規定チェックイン時間の 14 時～20 時（最終受付）内で、ご希望のお時間をお知らせください。



- 規定チェックイン時間（14 時～20 時）の前後 2 時間（正午～14 時、20 時～22 時）に限りましては、時間外対応料を持って受入れ手配が可能です。それ以外のお時間は基本的には対応いたしかねますが、（基本的に送迎サービスのご利用を前提に）アレンジを試みますのでご相談ください。
- ハウスにご到着後、滞在中に際しての説明、施設内のご案内、お支払い、鍵の引渡しを行います。リピーター様かどうか、どこまで弊社の滞在システムをご理解いただいているかなどにもよりますが、30 分少々のお時間がかかりますので余裕を見ておいてください。

2. チェックアウト

- チェックアウトは 14 時までです。チェックアウトに弊社スタッフの立ち合いはございませんので、14 時以前のご自由なお時間にご退室ください。
- 鍵を所定の場所（通常はお部屋の扉の内側のフック）に忘れずに返却してください。このハウスのエントランスはオートロックですので、出た後にエントランスの扉をしっかり閉めて頂ければ OK です。なお、鍵を万が一持ち帰ってしまった場合は至急ご連絡ください。
- 後片付けをしてご退出ください。お部屋を中心に、お使いいただいたスペースはそのまま次の方が使われますので、次の方が気持ちよく滞在出来るように整えてご退出下さい。具体的には、使った場所の掃除、ベッドメイキング（使っていた寝具カバー類を洗濯して、洗い換えでベットメイキング）、ご自身の所有物（キッチン棚、冷蔵庫、バスルームの棚等）の整理、処分をお願いします。詳しくはチェックイン時にもご説明申し上げます。
- 空気の入替えのため、退室時にはお部屋のドアは少し開けたままにしてください。特に寝具カバー類が乾かずに干したままになるような場合は特に気を付けてください。もちろん、防犯上、外に通じる窓、玄関（オートロック）は、しっかり閉めてご退室ください。
- 忘れ物をしないようご注意ください。ハウスには常駐管理人はおりませんし、基本的に確保、保管、廻送はできません。どうしても物は、もし見つけることが出来れば対応をさせていただきますが、長期保管は出来ず、廻送に対しては送料に加えて対応料をいただくことになります。

3. 掃除、整理整頓

弊社には掃除婦はおらず、ハウスの掃除、整理整頓は皆さまに行っていただきます。基本として、自分が使ったものは責任を持ってもとに戻し、使った場所は責任を持ってきれいにしてください。また、共有の場所はそれぞれの方が日ごろからをきれいに保つようにしてください。つまり、自分に責任がある場所のご自身のお部屋と共有部分、責任が無いのは他の方のお部屋のみです。

共有部分については、ときどき深い掃除もお願いしなくてはなりませんが、分担表を作ったりはしていませんが、皆さまには推奨する頻度だけお伝えして、場所や時間はそれぞれの方にお任せしています。下記に詳細を記しますが、チェックイン時にもご説明申し上げます。時々スタッフもクリーニングのヘルプをしますが、あくまで皆さま自身による日常の清掃が主体となります。

- 個人のお部屋の掃除はある程度は自由ですが、害虫や害獣の問題がありますので不衛生にならないよう、湿気によるカビの増殖などでハウスにダメージを与えないよう、きれいに保ってください。なお、壁への画びょう、釘打ちはもとより、オイル跡が残ってしまうのでブルータグの使用も禁止です。ダメージの原因が明確な場合は修理費を負担していただきます。
- 共有部分の、自身が使用した場所の掃除や、使用したものの後片付けは、その都度行ってください。お鍋や食器の洗い残し、トイレの汚れの残り、バスタブや洗面シンクの化粧汚れや髪の毛の残り、玄関付近の泥汚れなど、基本的なレベルで他の方に不快を与えないようにしてください。
- 共有部分については日頃より、新しく来られた方が「ホントに滞在者できれいに保っているのだな」と思っていたようなレベルを保持してください。また、日頃からきれいにお使い頂いたうえで更に、各人が週に1回（一週間未満の滞在の方は滞在中に1回）、1時間の集中した掃除の時間を設けてください。1時間しかない中で深く行っていただく必要がありますので、この掃除は全体をまんべんなく行うのではなく、ご自身が最近最も気になった(汚いと思った)特定の場所に対して深く行ってください。
- 共有のスペースには個人的なものを置かないで下さい。所在不明で置いてあるものは処分させていただきますことがあります。バス室のポール棚にはシャンプー・リンス等置いていただいて構いませんが、全体の人数からスペースを考えてご利用ください。退出時には必ず処分して、後をきれいにしてください。
- 掃除機はバックス式を置いています。バックス式は、溜まったゴミを捨てるのが簡単という利点の半面、フィルターが詰まりやすいという欠点もあります。ゴミを捨てても吸いが悪いと感じた時はフィルターの掃除をお願いします。説明書によればフィルターは水洗いもできますが、よほどしっかり洗わないと目が詰まるだけですし、半乾きで取り付けると故障の原因になります。ゆえに水洗いはせず、まず表面の大きなゴミを取り、外で強く叩きつけるなりしてホコリを取る方法が良いと思います。
- 冷蔵庫の中は清潔に保ってください。まず、自分のものは責任を持って管理し、退室時には必ず全てを処分してください。庫内の棚の液体のこぼれ跡や食材の残りカスなどをきれいにしてください。自分のものは責任を持って管理し、各自に冷蔵庫全体を管理する責任があるという意識のもと、退室者の忘れ物に注意を払い、声を掛け合って整理、整頓を行ってください。スタッフが訪れても、外出中の方もいる中で、忘れ物を見分けて処分するのは困難です。なお、庫内に水が溜まる時は、庫内の奥面にある水汗抜き穴が詰まっていることがほとんどです。お箸などの細長いもので掃除をしてください。

- ゴミの処理は皆さんで協力して行ってください。Room1の方はご自身のゴミの処置になりますが、上階の方はお部屋のゴミをキッチンのゴミ箱にまとめ、一杯になっているのを気づいた方が処置してください。ゴミ袋の口を縛り、フラットの玄関を出て廊下を右方向へ進んだ、フラット10の前の非常出口外、非常階段の中央のシューターから投げ落として下さい。シューターの口はそれほど大きくありませんので気をつけて下さい。各部屋のゴミ箱、キッチンのゴミ箱は定期的に掃除してください。

また、エレベーターで B1 へ行くとマンションの後ろ側の駐車場に出られます。そこには一般ごみと、リサイクル用の大きなコンテナが置いてありますので、シューターに入りきらなかった場合やリサイクルゴミはこのコンテナに運んでください。リサイクル対象品は、ビン類、カン、ペットボトルを含むプラスチック類、紙類です。スペースに限りがありますのでハウス内に一般ごみ、リサイクルそれぞれのゴミ箱は置いていませんのでご自身で管理をしてください。

‘きれいさ’に対する感覚には個人差があると思いますが、ご自身の感覚ではなく、例えば、日本のウィークリーマンションなどにおいて、一般的に‘きれい’とされるレベルを保つようにお願いします。時に他の方の対応レベルに不快を感じることもあると思いますが、それでも日本人のマナーの高さと責任感は世界最高レベルであることに間違いはありません。同じご自身でも経験に伴って掃除のレベルは上がってきたはずですから、心を広く持って、経験値の高い方がカバーして下さいますようお願い申し上げます。

4. 安全管理

ハウスに管理人は居りません。普通にフラットシェアをするのと同じく、安全管理は各自においてお願いします。ハウスのあるエリアはロンドンでも最も安全と言われておりますし、ハウスは駅直結と言えるほど至近ですが、知らない土地ですから気を抜かないようにしてください。良いエリアゆえに空き巣に狙われやすいとも言えますので、外出や就寝の際は戸締りをしっかり行ってください。

- 安全管理上、滞在者以外の立ち入りは固くお断り申し上げます。ご自身にとっては信頼できる相手でも他の滞在者にとっては知らない方になります。反対に他の滞在者がいろいろな人を招き入れる状況は望まれないことと思います。また、そうした際に何かの紛失や破損が有った場合は不許可侵入者に嫌疑が掛かることになります。滞在者はレントを払って施設を利用していますので、代金を払っていない方が設備を使う権利は無いという理由もあります。

ただし、お部屋の定員数までは、多少の割増料金で滞在者を追加することが可能です。宿泊まではしないまでも、お食事等においても、この方法を使うことで正規に入室が可能になります。必要な場合は事前にお知らせください。追加滞在者についての所定事項を報告頂き、割増し差額のお支払いを頂きまして滞在者追加契約終了となります。

- ご近所さんとは、あいさつ程度以外はあまりかかわらず、迷惑を掛け無いようにだけ心がけてスッと暮らしてください。皆さまが盗みなどの何か特別なことをするとは思っていませんが、小さなミス（例えば、家を間違えてしまったり、ゴミの出し方を間違えてしまったり）も、それぞれの滞在期間が短い上では繰り返し行われてしまっていて、大きな問題に発展してしまったことがあります。必要以上に話し込んで仲良くなることも避けてください。事情を知らない皆様の何気の無い会話が後々問題になることもあります。

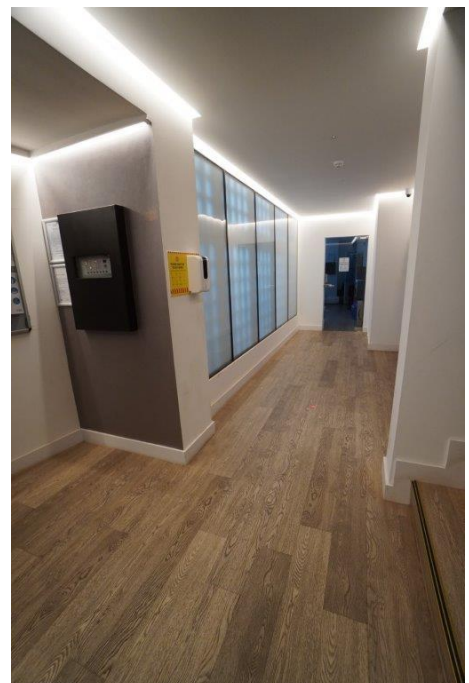
人々は静かに暮らすことを望みます。そうした点において、そもそも弊社のようなハウスはご近所にあまり気持ち良く思われない可能性が有ります。皆様のご実家の隣の家が不特定多数の方が出入りする、誰が泊まっているか分からないお家になってしまったことを想像すればご理解いただけたと思います。弊社のハウスはその時点時点の滞在者を少人数に抑えています、一人一人の滞在期間が短いうえでは、近所から見ると常に新しい顔を見る感覚となり、あそこは何人住んでいるのかという誤解を招きやすいです。そして、皆さまが望む良いエリアほど、そうしたご近所の厳しい目が強いのです。

- 火の始末には十分に気を付けてください。ハウスの入るビルは、ガスは通っていませんので、Room1のレンジ、上階のキッチンのレンジともに電気クッカーです。電気とは言え、当然ながら調理を行うだけの火力はあり、むしろ火が無いことで分かり辛いことにもなりますので、やけどや火事などにお気を付け下さい。なお、キッチンには消火器を備えています。有事に的確にご使用いただくべく確認しておいてください。また、Room1、Room3 のテラスではタバコを吸えますが、火の始末には気を付けてください。
- 貴重品の管理は各自でお願いします。全室鍵付きですし、少数の日本人が滞在しているハウス内は安全と言えますが、あくまで相対的にということです。貴重品 Box のようなものもありませんので、スーツケースに入れて施錠するなど、各自においてご留意をお願いします。常駐の管理人もおられませんし、私どもが不確定な要素の多い盗難疑惑等への対応や責任を負うことは出来ません。
- 鍵の管理には十分ご注意ください。特にビルのエントランス用のホブキーはビルの管理会社によって番号管理されています。万が一紛失した場合は、マンション全体の安全管理上の問題になりますので至急お知らせください。故意では無いでしょうからそのこと自体は咎めませんが、事態収拾の為に 2 つの賠償方法から一つをご選択頂きます。選択肢の詳細についてはその折にご説明します。必要以上の請求は致しませんし、そもそも私どもは賠償請求など望んでいませんが、エントランスのホブキーに至っては管理会社から高額な請求が来ます。皆様にとりましても、不必要な出費、対応、責任が生じることを望むところでは無いと思いますので何とぞお気を付けください。なお、ご自身において無断で鍵のコピーを作ることは違法です。

5. ハウスの入る建物

ハウスの入っているビルは、一階がショップ（マンションの入り口は別で直接のアクセスは出来ません）、上階が住宅になっている、10 階建ての大きなマンションです。ビルのエントランスはスイスコテージ駅の出口に面しています。かつては中層階がオフィスだったこともあり、イギリスの住宅ではあまり見かけない頑丈な造りでお隣さんの生活音も聞こえません。

最近コモンエリアの改装が行われ、一段とモダンな雰囲気になったエントランスにはポーター室があり、ビル管理会社の方がほぼ常駐しています。全館暖房のビルは、エントランスキーシステム付きのセキュリティーの高い建物です。



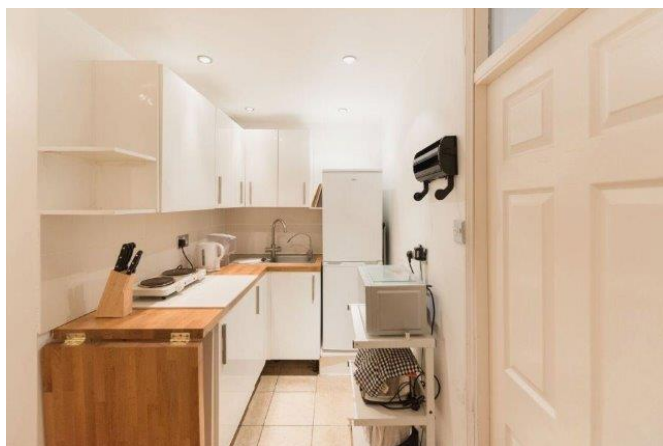
- ビルのコモンエリアには監視カメラがあります。大きな声を出したり、長時間とどまって何かをしたり、他のフロアを歩き回ったりといった、迷惑な行動や不審に思われる行動をしないようにしてください。
- スーツケースなどの荷物で、エントランスドア、エレベーター、廊下、廊下の壁、廊下の扉などを、傷付けないようにご注意ください。
- ビルのエントランスには、管理人室が有りますが、ホテルの受付とは全く意味が違います。荷物を預けたり、道を尋ねたり、そもそも話し込んだりすることのないようにお願いします。たとえマンションに関することであっても、フラットの所有者でない短期滞在の皆様が、直接の質問や交渉をすることは基本적으로ご遠慮いただきたく、何か必要を感じた際は、まず私どもご連絡ください。
- 3.掃除、整理整頓の項でも触れましたが、ビルの各フロアには、ごみを投げ入れられるシューターがあります。また、エレベーターで B1 へ降り、外に出たところには大きなゴミ BOX（一般ごみ、リサイクルゴミ）が並んでいます。

6. ハウス内の設備

ハウスには調理設備、食器、洗濯機、掃除用具等の設備は一通り揃っており、お荷物一つでいらしていただいて、普通の基本的な生活ができる環境が整っております。なお、下階の **Room1** は、構成としては **1DK** の完結したマンション空間で、そうした設備は全て専用です。

- 家電製品は高価なものも多く、正しい使い方で、丁寧に使ってください。使い方が分からない時に ‘なんとかかなるだろう’ 的な使い方をせず、‘あれっ’ と思った時に無理やり推し進めようとせず、長い滞在者に聞くなどして、構造や使い方を理解してから使うようにしてください。破損の原因が明確な場合は修理費を負担していただきます。（設備の使い方はチェックイン時に一通りご説明申し上げますが、洗濯機などの機器については日本語で『〇〇の使い方』としてノートを置いてあります）

- 調理器具は正しく丁寧にお使いください。ケトルや炊飯器の空焚きに注意してください。テフロン製品は正しくお使いください。熱いままの急激な冷却、固いスポンジで洗うなどしないでください。電子レンジで光る物を調理してはいけないのは常識です。青魚の背中でも反応しますので気を付けてください。電子レンジもオーブンレンジも使用後は中を掃除してください。飛び散りのまま使うと不衛生ですし、汚れが落ちなくなります。



少々厳しい言い方で恐縮ですが、ここは初めての一人暮らしで調理にチャレンジする場所ではありません。日頃から調理に慣れている方のみご利用ください。不慣れによる機器や備品の破損や消耗は避けたく、特に火の不始末による火事など起こっては取り返しがつきません。

- 建物、家具、寝具、家電製品、食器や小物などを誤って破損してしまった時はきちんと申し出て下さい。状況に応じて多少のご負担をいただくこともあるかもしれませんが、必要以上の請求は致しませ

ん。何より、善意の第三者（新しい滞在者や他の滞在者）が困ってしまうことのないよう、責任としてご報告をお願いします。特に鍵の紛失は状況によっては大きな責任を伴うこととなります。

- イギリスではよく設備が壊れますし、なかなかすぐに直りません。完璧な日本と違って、エンジニアを呼ぶにしても新品を購入するにしても、しっかり段取りをしても時に有り得ないほどの時間がかかります。お客様という立場で考えればイライラする気持ちも分かりますが、住んでいない我々が壊すわけは無く、もしかしたら皆様の使い方のミスによって壊れた可能性もあります。

我々は、そうした理由はともあれ、とにかく復旧の対応をします。慣れていますし、保険を掛けているものもありますので一般の方々の対応よりはるかに早い復活を見込めます。皆さまは住人です。ご自身で普通に不動産屋さんから借りていたなら全て自分で進めなければならず、もっと時間が掛かるのだろうなという認識のもと、協力して早く解決しようという姿勢でご対応ください。

なお、何事も無いことを前提とした料金設定の概念上、設備トラブルといったイギリスの生活における普遍的な事情に伴うリファンドは致しかねますのでご了承ください。

7. インターネット

無料 Wi-fi 環境を整えておりますので、ハウス内のどこからでも、ご自身のパソコンやスマートフォンで、インターネットへアクセスすることが可能です。ハウスに常設電話はありませんので、滞在中の通信手段はご自身で確保してください。

- 接続の設定はご自身で行って下さい。ネットワーク名と接続パスワードは、ハウス備え付けのインフォメーション内に記載されています。
- 映像のダウンロードや、ビデオつき e-mail の多送信、ゲームなど、大きな通信量を伴うような使い方をしないようにしてください。こちらのサーバーは、無制限の契約でも使用容量が多すぎると制限を掛けてきたりしますので、他の皆様の利用の妨げになります。
- 他の方のパソコンもインターネットに接続が出来ないような時は、まずはルーターのリセットを試みてください。ルーターは 2 階のキッチン、ワゴンの下段にあります。リセットは、電源コードを一旦抜いて 5 秒ほど待ってから差し直すだけで自動的に始まり、数分で完了します。それでも接続できない場合はサーバーに確認してみますので、それ以上はいじらずにご連絡ください。なお、特定のデバイスのみが接続できない場合はそのデバイス自体の問題としてご自身でご解決ください。
- 接続に伴う故障等の責任は一切負い兼ねますので、予めご了承のうえご利用ください。また、インターネット環境の提供は無料サービスですので、万が一の不通の場合は無いものとしてご了承ください。なるべく早い復旧の努力は致しますのでご協力をお願いします。

8. 洗濯

ハウスには無料でお使いいただける洗濯機が 2 台備わっています。Room1 には専用の乾燥機付き洗濯機、上階には Room2、Room3 用の洗濯機と乾燥機が有ります。洗濯機の寿命延伸のため、他の方との共用のため、各自の使用頻度は週 1, 2 回程度でお願いします。また、洗濯用洗剤は個人で用意してください。

- 洗濯機の使い方はハウス備え付けの説明書を参照してください。代表的なプログラムに絞って簡潔に記していますが、長い滞在の方など、慣れた後はご自由に他のプログラムをお使い頂いて構いません。また、洗濯機使用に伴う注意事項も記してありますのでお使いの前にご一読ください。
- 使用時間帯についての細かな規定はありませんが、上階の 2 部屋用の洗濯機については、早朝出発などの致し方ない場合を除いて（そういう場合でも事前に一声をおかけ頂けたらよろしいかと思います）、良識的な時間帯をお願いします。
- 洗濯機の故障がとて多くなっています。ヘアピンなどがモーターに絡まって排水不良をおこすことが頻繁にありますので、洗濯物を入れる前にポケット等を確認してください。また、プログラムが終了しても安全ロックが解除されるまで扉は開きません。無理に開けようとすると安全ロックが壊れて二度とスタートしなくなりますのでロックランプが消えるまでお待ちください。
- 乾燥機は膨大な電気を使いますし洗濯物も痛みます。一方でお部屋の湿気防止や退出時のベッドメイキング対応時間の短縮といった面では有効です。その辺りのバランスを考えて適切な時間設定をしてお使いください。終わったときに、「まだ湿っているな」と感じる程度が私どもの考える適切な設定の目安です。具体的な時間は洗濯物の量によって大きく変わりますが、30 分から 1 時間程度でしょうか。
- Room1 の洗濯機は乾燥機が一体式です。Express や Wool などのプログラムは洗濯時間が短いので重宝しますが、脱水スピン回転の弱いプログラムですので、脱水が甘い状態のまま乾燥に移行させることは効率的ではありません。自動移行しないように乾燥ダイヤルの設定を 0 分にし、まず一度洗濯プログラムを終了させ、続いて高い回転のスピン（脱水）を掛け、その後乾燥を行ったらよろしいかと思います。上階は、洗濯機と乾燥機は別体です。洗濯機でしっかり脱水した後に移してお使いください。
- 洗い終わったものは洗濯機から直ちに取り出してください。乾燥の効率上、暖かいうちに取り出して干すのが効率的であり、しいてはお部屋の湿気を減らし、カビ発生の防止につながります。また、半乾きの状態で叩くなどすればある程度しわを伸ばすことが出来ますし、縮みの防止も出来ます。特に上階の共有洗濯機については、次の方の使用の妨げにならないようご配慮ください。
- 洗濯物は、各部屋常備の洗濯物干しラックを使って各自のお部屋で干してください。洗濯物干しラックはこれまで最も壊れている備品の一つですので、ファンクションを理解して取り扱ってください。なお、カーテンポール等の室内の設備に洗濯ロープ等を掛けないでください。濡れた洗濯物はそれなりに重いので落ちてしまいます。また、濡れたものを木製の家具や机の上に放置しないでください。ふやけて凸凹になってしまう場合があります。
- Room1 は専用のバルコニーで干すことも可能です。イギリスではバルコニーに洗濯物を干さない習慣ですが、干しスタンドの高さは柵以下で外からはあまり見えないのでここでは OK としています。ロープなどを使って大々的に干すことはできませんのでご注意ください。また、こちらの天気はとても変わりやすいです。ひさはあるものの、雨が吹き込みますのでご注意ください。
- アイロンをかける際は、床やアイロン台の焦がし、火災に十分にご注意ください。一度アイロンを暖めたら、使用が終わって冷えるまでその場を離れないで下さい。使用後もアイロンは高温です。片付ける際は完全に冷えたことを確認してください。

- 結露やカビを防止するために、室内干ししている最中は必ずその部屋内で除湿機を作動させてください。除湿器は上階の廊下に置いてあります。除湿機は掛けっ放しが可能です。乾いたら直ぐにたたんで、除湿機をもとの場所に戻してください。詳しい使い方は洗濯機備え付けの説明書、もしくはこのインフォメーションの巻末資料を参照ください。
- 退室時、時間切れで止むを得ず寝具カバーを干したままにする場合は、室内に除湿機を作動させ、部屋のドアは開けたままにし、他の方に取り込みのお願いをしてご退室ください。

9. バス・トイレ

上階にある、バス・トイレ室は Room2、Room3 の共用です。使用上のルールを守り、マナーを持ってご利用ください。一方、下階にあるシャワー・トイレ室は Room1 専用ですので Room2、Room3 の方は使わないでください（Room1 の滞在者による鍵の管理も可能ですが、そうされる場合は鍵を失くさないように気をつけて下さい。）下記、シェアのバスルー

- 上階のシェアバス室について、少人数定員にて極端な待ち時間は無いと思いますが、個々の方が占有時間の短縮に努め、（特に皆さんが使用したい時間帯などは）声を掛け合ってお使い下さい。
- バスルームは 24 時間使えますが近くにお部屋もあります。そこまで大きな音では無いと思いますが良識な時間帯でお願いします。特にドライヤーの使用時間には気を使ってください。
- 足ふきマットは、気づいた方が定期的に洗濯、交換をしてください。
- トイレットペーパーは個人でご用意ください。また、自身のトイレットペーパーはバスルームに置いたままにせずに、お部屋からその都度持ち込むようにお願いします。バスルームに置かれているものは、退出者があえて残されたものなどもございますので、共用品としてお使いください。
- この家の給湯は、ビル全体の給湯システムによりますので、温度にしても、量にしても、心配は要りません。故障も一般家庭のボイラーのような頻度では起こりませんので、基本的には安定供給を期待できる状況です。ただ反対に、一たびトラブルが起こりますと、我々の対応の範ちゅうではありませんので、その際はご協力ください。
- 上階のバス室は共有のスペースという観点から、浴槽にお湯を溜めることは基本的にお避け頂きたい思います。ただ、全館給湯システムにつき、お湯切れという心配は要りません。他の方がいらっしゃらない時や、皆で打ち合わせて順番に入るなどで、自分の都合だけではない前提で、時々でしたらお湯を溜めて頂いて構いません。なお、溢れさせて階下のお家の天井にシミを作って賠償といったことの無いよう、溜める場合も浅めで、またフロアに飛び散らないよう、ご留意をお願いします。



- 使用中な事が分るよう、また湿気排除の目的から、共用バス室のドアは普段は開けておくようお願いいたします。また、私用後は特に、バス室前に置いてある除湿器を有効に稼働させて、カビが生えないようにご注意ください。階下にある **Room1** 専用のシャワー・トイレ室は **Room1** の滞在者が責任をもってお使いください。
- バスルーム・トイレ室は最もきれいであって欲しい場所である一方で、最も手入れを必要とする場所です。皆さんで協力し合ってきれいに保ってください。基本的なことです、トイレ使用後は、便器に汚物がついていないか確認してください。他の方の、そうした汚れの処置をするのは決して気持ちの悪いことではありません。
- イギリスの水は石灰を含みますのですぐにスケールが溜まります。バスタブの淵、シャワーグラス、手洗いシンク、キッチンシンクを含めて、常時より極力水をふき取ってください。日本人の感覚には行き過ぎに思うかもしれませんがイギリスでは常識的な範囲です。
- イギリスは一般的に排水管が詰りやすいです。水も石灰分を含みますし建物が古いので、詰まると時に大掛かりな対応が必要になります。日頃より、キッチンシンクを含む全ての排水口に不用物を流さないように気を付けてください。シャワーの際は髪の毛を流さずにゴミ箱に処理し、トイレの際はポケットティッシュなど絶対に使わず、トイレットペーパーであっても必要最小限でお願いします。日ごろから大便の後はフラッシュを2回行うなども良いと思います。

もしトイレの流れが悪いと思った時は、バケツ一杯の水を数回、便器に一気に流し込んでください。完全に詰まり切ってしまう前であれば何度か行くとスッと抜けることが多いです。全く流れない場合は流し込み過ぎると溢れますのでご注意ください。なお、シンク、シャワー室、トイレを含めて、詰りが確かな場合は、ひどくなりすぎる前に連絡をください。

10. 暖房

このハウスの暖房は、ビル全体のセントラルヒーティングシステム（全館暖房）によるものです。常にメンテナンスがなされており、これまでの経験上大きな故障は滅多に無く、弊社の他のハウスに比べて暖房への信頼性は高いものがあります。また、稼働開始日や終了日、稼働時間帯の決定もビルの管理会社によって行われていますが、全ての入居世帯の事情をカバーする都合上、稼働時間や設定温度、メンテナンス等は十分過ぎるものとなっています。

- 室温の調整は、基本的には、ドアや窓の開閉によってお願いします。理論的には各ラジエーターの温度調節ダイヤルでも調節を行えるのですが、お湯を回しているという機構上、瞬間的に室温を変化させられませんし、何より、ライムスケールを含む水の特性上、古い硬化しているダイヤルを無理に回すと水漏れが起こることが多いです。
- 暖房稼働中は、ラジエーターはとても熱くなりますのでご注意ください。中はお湯が回っているだけですので物が燃えたりまではしませんが、ラジエーターにバスマット等のゴム面を掛けておくと溶けてしまうことがありますので注意してください。
- 全館暖房システムにつき、稼働開始や終了のタイミング、時間帯や温度設定などは弊社のコントロールの範ちゅうではありません。また大きな設備ゆえに、ひとたび故障が起こると復旧に時間が掛かること

もありますが、こちらも弊社の管理の及ぶところではありません。特に故障の際は迅速な対応要求は致しますのでご協力をお願いします。

11. 節約

物価高騰の折、電気/水道/ガスなどの光熱費や、ゴミ袋、洗剤などの補充消耗品の節約にご協力下さい。現在の家賃は想定したコストを前提に設定されており、全てが家賃設定に跳ね返ることになります。もちろん必要なものは使わなければなりません、ご自身で光熱費を払っているなら、消耗品を購入しているならという意識をもってご対応いただけましたら、程よい程度の使用になるものと思います。

12. 消耗品、日用品。

ハウスの滞在環境は、全てご自分で生活をするフラットシェアのような感じです。生活に必要な設備や備品は一通り備え、良い状態を保つように管理もしておりますが、一方で、生活に必要な消耗品は基本にご自身でご用意いただくことになります。

短期滞在の方もおられますゆえ、便宜上、ある程度の共用的な消耗品は補充するようにはしておりますが、個人的な消耗品はご自身でご用意ください。また、補充するとしている消耗品も皆様の使い方と補充のタイミングによっては切らしてしまうこともあります。そうした場合は、もともとは個人で用意するものとしてご用達いただいた上で、メールで報告いただけましたら次に伺う際に補充します。

- 補充するようになっている消耗品・日用品・・・掃除用洗剤類、掃除用具等のメンテナンス用品、ゴミ袋、食器用洗剤、ラップ類、電球、電池、コーヒー・紅茶等。
- 各自でご用意いただく消耗品・日用品・・・食材、調味料、洗濯用洗剤、トイレットペーパー、シャンプー・リンス類、タオル類等。
- キッチンの共有棚に残された退出者の消耗品は自己責任の下にご自由にお使い頂いて構いません。また、使うだけではなく、不要物は破棄するなど、日ごろから棚の清潔に心掛け、清潔で衛生的な状況を保ってください。居住していない管理人が廃棄等の判断をするのは難しい面がありますので、住人の各自が主体性を持ち、必要なコミュニケーションを持ってお願いします。

13. 住所、郵便物

ハウスの住所はハウス備え付けのインフォメーション内に記載されています。

- 管理人のいないハウスへの突然の訪問を避けるため、滞在中の皆さまの安全やご近所さんへの迷惑防止のため、住所表示には日ごろより気を使っております。ゆえに HP 内には記載しておらず、滞在中の方、契約段階においてはお支払いを頂いた後など滞在が確実になった方へのみお伝えしております。お取り扱いにはご留意をお願いします。
- ご退出後に、その方あてのダイレクトメール等が届き続けることの無いよう、弊社の住所を使つてのショップ等への会員登録はご勘弁ください。本人ではないので止めることもできずに困っています。また、連絡先として弊社の代表電話番号の登録もご勘弁ください。旅行会社からの緊急連絡などもあ

って困っています。入国カードへはこの住所をご記入くださって構いませんが、弊社は何ら対応できるものではありませんことがご承知おきください。

- 滞在者の郵便物には関知しませんので、利用の際の対応はご自身で行ってください。特に滞在期間以外に届くことのないようご配慮ください。基本的に保管や廻送はできません。滞在期間内であっても、ご近所さんが代行して受け取らなければならないような事態はお避け下さい。
- 郵便物のあて名は、ご自身のお名前とこの住所のみで OK です。我々の都合でつけているハウスの名前やお部屋番号（Room1 や Room2）は郵便には関係ないものですので記載しないようにしてください。デリバリーが他のフラットと間違えてしまう可能性が有ります。
- 荷物の受け取りですが、小さな郵便物はフラット玄関のレターBox から投げ込まれます。投函されている郵便物は、階段下の靴箱の上に置いておいていただけましたら、スタッフが伺った際に整理いたします。明らかなジャンクメールは処分してください。滞在中の方宛てのものはその方に知らせてあげてください。分からないものは無雑作に破棄せずに残しておいてください。中には光熱費の請求書や各種機関からのレターなどの重要な書類もあります。
- その時の全ての滞在者が長期滞在などの場合、スタッフが伺う機会が減って光熱費の請求書や至急の対応を要する letter をタイムリーに受け取れない可能性が生じます。そうした期間は住人の皆さまに letter の廻送をしていただきます。光熱費や住民税などは皆様に代わって手続きをしているとも言えますのでご協力をお願いします。廻送先の住所はその際にお伝えしますが、届いた封書の宛名に×をして、横に廻送先を記してそのまま投函するだけです。郵便局へ行く必要もなく費用も掛かりません。
- Amazon などの配達の際は、配達人はビルのエントランスからドアフォンを鳴らしてくると思いますので、階段下のインターコムを使って相手を確認し、招き入れる場合は、インターコム上のボタンを押して遠隔にてビル玄関の開錠を行ってください。さすれば配達人がエレベーターを使って我々のハウスのドアの前まで来てくれるはずです。

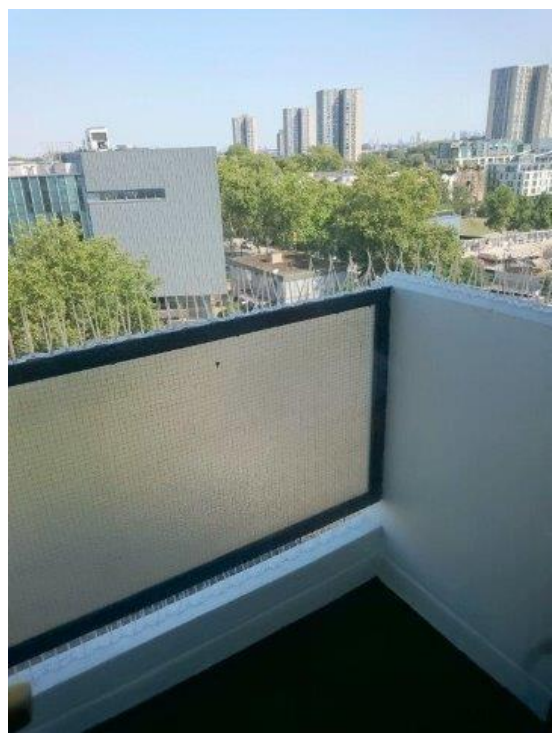
14. 門限、消灯

門限も消灯時間も特に定めていませんが、他の滞在者やご近所さんの事を考えて良識的に行動して下さい。

- 基本的に平日は 22 時以降、週末は、24 時以降は静かにすることとし、例えこの時間前であっても、他の滞在者やご近所さんの事を考えて良識的に行動してください。

15. 喫煙

イギリスでは禁煙法により、完全な自己の住宅以外の建物内での喫煙は全面的に禁じられており、スイスコテージハウスの入るマンション内全ての場所が禁煙です。



- **Room1、Room2** はバルコニーでの喫煙は可能ですが、窓や扉から煙が中に流れ込むことの無いよう、また隣の家のバルコニーへの流れへもご配慮ください。
- 吸殻をポイ捨てしないことは当然ですが、臭くなりますので家の中のゴミ箱には直接捨てず、滞在中は水を入れたペットボトルを置いて置き、退去時に廃棄するなどして対応して下さい。
- 正面玄関の外での喫煙は極力お控えください。法律的には違反ではありませんが、日頃より迷惑をかけている上ではなるべく悪い印象を与えたくなく、家を離れてからお願いします。

16. その他

- 外出時は忘れずに鍵をご持参ください。ビルのエントランス、ハウス玄関のドアはオートロックキーなので入れなくなってしまう。特にゴミ出しなどうっかりし易いので気をつけて下さい。一方、各お部屋はオートロックではありませんので、家の中で鍵を持ち歩く必要はありません。
- ハウスはマンション内の一つのフラットですが、エレベーターホールからの廊下に各フラットのドアが並んでおり、家を間違え易い環境にあります。旅行の方などは遅い時間の帰宅も多いと思われ、決して間違わないようにしてください。過去に大きな問題になったことが有ります。
- ハウス玄関ドアには段差があります。上階への階段や靴箱は木製です。スーツケースをしっかりと持ち上げて、階段、壁、損傷させないようにご注意ください。
- ハウス内は土足禁止です。階段の下方に **Room1** 専用、上方に **Room2、Room3** 共用の靴箱がありますので、備え付けのスリッパ（もしくはご持参のスリッパ）に履き替えてください。なお、玄関通路及び階段は外履きと内履きの共用部分になりますので、日頃より濡れ拭き掃除を心掛けてください。
- 滞在中はときどき窓を開けて換気をしてください。特に冬季は、窓も部屋の戸も閉め切りがちです。暖房が効き、締め切った空間の中で洗濯物を干す状況はカビを増長させています。洗濯物を干していても、湿気を感じた際は除湿器を稼働させてください。
- 設備や備品のチェック、修繕、交換などの目的で、連絡なしにお部屋に入室させていただくことがあります。弊社のシステムにおいては普通のホテルのように毎日スタッフが自由に出入りすることはなく、滞在中は基本的に入室致しません。ただ、常駐管理人が居ない中で物事を効率よく進行させるために、時に緊急入室が必要になる場合がございます。入室する者は、弊社スタッフ、もしくはスタッフ立ち会いのもとでの第三者（業者等）に限られますし、消防検査など事前にわかっている場合は予めお伝えいたします。
- 滞在者同士で助け合って生活をしていただいておりますが、長期の滞在者に頼りすぎて、管理的な負担を強いてしまう事のないようにご配慮ください。



- 滞在者間のトラブルには関与しません。憶測や主観を前提とした苦情や注意蜂起のご依頼はご勘弁いただきまして、大人である当人同士で話し合っただけで解決いただくようお願いいたします。ただし、客観的事実に基づいて、滞在のルール違反が明らかな場合はその限りではありませんのでご連絡ください。

17. ルール違反

皆様がルールを守ってご滞在いただく限りは、私どもは基本的に干渉致しません。皆様のロンドンのお家としてご自由にご滞在いただけたらと思います。ただ反対に、迷惑行為やルール違反が明確な場合は注意をさせていただきます。そしてもし注意後も改善が見られない場合などは退室していただくこととなります。その場合は残り期間分の返金は有りません。なお、ルール違反の判定や退室の勧告は、皆様の主観ではなく、私どもの長年の経験に基づいて客観的な判断において行います。

18. 質問、連絡

メール連絡先・・・info@londonapplehouse.com

携帯電話連絡先・・・+44-(0)7900-457-222、又は +44-(0)7936-974-165

- 前提として、基本的にご自身で生活されることを心掛けてください。ハウスの利用方法やシステム、周辺につきましては、備え付けのインフォメーション、そして HP の料金表や Q&A をご確認ください。
- ハウスの設備についての報告や、延長・送迎依頼などのご契約に関するご連絡はメールでお願いします。メール担当者より、基本的に 24 時間以内にご返信申し上げます。
- 緊急対応が必要な故障やトラブル等、事情のある場合はお電話ください。ただし、緊急時以外は 10 時～20 時の時間内をお願いします。出られない場合はメッセージをお残してください。